



# 北海道キャンプ協会 かわら版

2011. 11. 22

北海道キャンプ協会 発行

TEL. 0134 (52) 3240

9月16日(金)～19日(月)、北海道立足寄少年自然の家(足寄町)で「平成23年度青少年自然体験活動指導者養成事業兼キャンプインストラクター養成講習会」(主催:北海道 共催:北海道キャンプ協会)が開催され、25名の方がキャンプインストラクターに合格しました。合格された皆様の今後の道内におけるご活躍を祈念しています。また、今回は、インストラクター講習会にあわせてBUC事業を開催しました。BUC参加の有資格者の方々には、一部のプログラム企画運営を担うなどお手伝いいただきました。次回のBUCは、2月に小樽にて開催します。皆様方のまたのご参加をお待ちしています。

## キャンプインストラクター合格おめでとうございます！(敬称略、五十音順)

赤坂 亮祐	浅理 蓮	秋田 映子	五十嵐和秀	石川 友貴	和泉 友喜	内田 裕太
江良ありさ	奥谷 悟	柏 咲妃	神園 歴	菊地 翔太	木幡 淳史	小松 翔
庄司佑一郎	土屋 大樹	野田 勉	野本 貴文	原田 恭平	細川 翼	前田 耕平
皆川 絢	森田千香子	藪谷 義雄	世並 玲美			

### 事業報告 1

BUC(ブラッシュアップ&コミュニケーション)事業

### 自然を学ぼうプロジェクト・ワイルド講習会 主催:北海道キャンプ協会

さる7月18日(月・祝)、北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター(江別市)で開催された「BUC事業 自然を学ぼうプロジェクト・ワイルド講習会」には、11名の参加がありました。以下の養成講習会の報告は、受講生の坪井彬人さんに感想も含めて書いていただきました。坪井さん、ありがとうございました！

平成23年7月18日(祝)、BUC事業「自然を学ぼうプロジェクト・ワイルド講習会」が開催されました。受講者は顔なじみのメンバーが多く終始和やかな雰囲気でした。講師にはBUCではお馴染みの二杉寿志先生(ファシリテーター)を迎え、午前中はアクティビティを用いたアイスブレイキングを行い、プロジェクト・ワイルドの概要や特徴、目的について学びました。午後からは3班に分かれ、指導実践と活動体験を行いました。



講師:二杉寿志先生

プロジェクト・ワイルドについては、今までのBUCや指導者講習会などで簡単に触れたことはありましたが、詳しく行うのは初めてでした。プロジェクト・ワイルドは学校や野外活動において、生き物を通じて環境を学び「自然や環境のために行動できる人」を育てる環境教育プログラムであり、アメリカで開発されたプログラムです。現在、日本国内では幼稚園から大学まで教育機関の現場だけでなく、企業内での研修などにも活用されています。

アクティビティ体験が始まると参加者は二杉ワールドに引き込まれ、楽しく活動をすることができました。大人が対象であってもアクティビティに引きつけるテクニックがあり、楽しませるだけでなくアクティビティの目的や本質を理解させる展開には驚かされました。二杉先生は地域の特色や対象年齢に応じて、アクティビティをアレンジしているとおっしゃっていました。自分自身が模擬的に野生動物や研究者となることのできることで、自然環境や環境問題を身近に感じることができました。午後からは、二杉先生にアドバイスをいただきながら、計画から指導までの実践を行いました。各班ともアレンジしていて、理解の深まるアクティビティを展開していました。



『くじらのしっぽの大きさは?』

BUC終了後は「会員のつどい」が行われ、来年度に予定されている「北海道キャンプ協会設立20周年記念事業」について議論しました。講演会の講師ややってみてみたい活動などがたくさん意見が挙がっていました。今後の北海道キャンプ協会のさらなる発展・繁栄につながる記念事業としていきたいものです。これを読んでくださっている方々からもご意見をいただければ嬉しいです。

今回のBUCでは、アクティビティの体験や指導実践を通してプログラムの楽しさや提供する面白さを再確認する機会となりました。この経験を生かし、さらにより良いものとしていきたいです。二杉先生をはじめ関係者の方々、参加者のみなさん、ありがとうございました。

北翔大学生涯学習システム学部健康プランニング学科4年 坪井 彬人

## 事業報告 2

### 福島県キャンプ協会30周年事業に参加して

～来年の北海道20周年をアピール！～

10月22日(土)～23日(日)、福島県猪苗代にて福島県キャンプ協会30周年事業が行われ、当会からは、来年行われる北海道20周年事業のPRも兼ねて、相馬副会長、秋葉周年事業担当理事、安原常任理事、田村会員、上木会員の5名が参加しました。

式典では、福島県キャンプ協会の国馬会長の挨拶、日本キャンプ協会の野澤会長の祝辞、続いて山形県朝日村にて幼児の環境教育に取り組んでいる上山剛司さんの記念講演が行われました。演題は、今回の野外でのプログラムのテーマである「森のようちえん」です。ドイツの事例をベースに実践されている内容でした。祝賀会では、東北以北の各キャンプ協会の方々との情報交換、交流をさせて頂く中、来年度の北海道キャンプ協会20周年事業のアピールもしてきました。東北各県の方々から「来年は北海道に行くからね！」と期待は高まった模様。

皆さん、来年は北海道キャンプ協会設立20周年です。力を合わせて盛り上げていきましょう！（田村一茂）



### 被災地(石巻市)を視察して

北海道、東北ブロック事務局会議終了後、宮城県キャンプ協会の瀬戸理事、木村事務局長のご厚意により、甚大な被害を受けた石巻市を視察してきました。高台から街を見渡すと建物ほとんど無く、ガレキの山、大量の破損した自動車、1階部分が津波で流され2階部分がかろうじて残っている住宅など、津波の爪痕が半年たった今も残されている状態でした。(避難所生活が嫌で、残った2階部分で生活している方も多いそうです。)至る所で目に入ってくる「がんばろう！石巻」の看板も印象的でした。私たちは自然の力を借りて様々な自然体験活動を行っていますが、時にはその力が私たちの命・生活を奪ってしまう姿を目の当たりにして、ただ、ただ茫然と立ちすくむばかりでした。被災された皆様方には心よりお見舞いを申し上げます。宮城県キャンプ協会の皆様、ありがとうございました。(上木祐弥)



### 続々登場講習会・BUC事業！！

BUC (Brush up & Communication) 事業

### 冬のアクティビティを学ぶ

本講習会では、プロジェクト・ワイルドやイグルーづくりを体験することで、北海道ならではの冬のアクティビティを学ぶことを目的としています。また、この機会に、来年開催します北海道キャンプ協会20周年事業についても意見交換を行う予定です。

(日 時) 平成24年2月5日(日)

10:00～16:00

(会 場) 小樽からまつ公園運動場 運営ハウス・周辺  
(小樽市最上2丁目3-1)

(対 象) 日本キャンプ協会公認指導者

(参加費) 1,500円(学生は1,000円)

(申込み) 申込みは平成24年1月20日(金)まで

(担 当) 北海道キャンプ協会事務局(自然環境促進会)

TEL 0134-52-3240

※詳細は別紙をご参照ください。

### HELP! We need YOU!

### 20周年記念事業ボランティアスタッフ募集!

有志により任意団体として設立された北海道キャンプ協会も、会員の皆様のおかげをもちまして、来年で設立20周年を迎えます。これを機に、これまでの活動を振り返りつつ、これからの協会の未来を皆様と一緒に考える機会となるよう、以下のような記念事業を計画中です。このイベントに興味のある方、事業運営をサポートして下さる方は、お気軽に事務局または秋葉(akiba@hokkaido-ymca.or.jp)までご連絡ください。ぜひ仲間に加わって、あなたの力を貸してください！ (20周年事業担当理事 秋葉聡志)

#### 【現在検討中の記念事業】

- ①記念講演会(BUC)(10月)  
旭山動物園園長 坂東元氏を招へい予定
- ②記念式典・祝賀会(10月)
- ③記念プログラム(BUC)の実施
- ④記念誌の発行・記念グッズの作成 など

皆様のご意見、ご要望はお気軽に…

## 北海道キャンプ協会

担当/安原・岩崎

〒047-0155 小樽市望洋台 2-14-1 望洋ゲイルズ(特)自然教育促進会内

TEL. 0134(52)3240 FAX. 0134(51)5667

E-mail: office@hokkaidocamp.com

### ご案内

同日・同場所で「プロジェクト・ワイルド(本編・水辺編)エドゥケーター養成講習会」を開催します。PWエドゥケーターの資格取得を希望される方はこちらを受講してください。 ※詳細は別紙参照